



学校教育目標
「夢をいただき、強くたくましい子どもの育成」

平成29年11月21日 No.28

全校校外学習（全校児童で秋田市へ行って来ました）

11月20日（月）、今年度初めての積雪がありました。朴瀬小学校に冬がやってきたこの日、教頭先生を団長に全校児童が秋田市へ校外学習へ行ってきました。東能代駅から列車で秋田駅まで移動し、にぎわい交流館AUでミュージカル「東海林太郎」を鑑賞しました。その後、お昼を食べて、アルペにあるNHK秋田放送局を見学し、また列車で東能代駅に帰ってきました。

団長の教頭先生からは、全校の子どもたちが東能代駅から帰ってくるまで、立派に集団行動できたという報告がありました。事前にどこでどのような行動をしたらよいかを学習したことが、本番の全校校外学習に生かされたと思いました。

子どもたちは、「東海林太郎のお芝居に感激しました。」「戦争の場面に心に残っています。」「NHKでは普段見られないスタジオを見学できてよかったです」などと感想を話しておりました。全校みんなでいい体験ができた一日でした。

お家の皆さんには、東能代駅までの送迎、お弁当など、ご協力をいただきました。ありがとうございました。



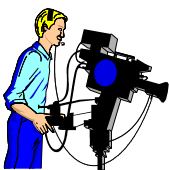
【東能代駅から電車で出発】



【秋田駅で整列】



【NHKをみんなで見学】



【NHKスタジオで全校児童の記念撮影】



3年生 理科授業研究会

11月16日(木)は今年最後の授業研究会が行われました。北教育事務所山本出張所の先生が来校されて、3年生の理科の授業を参観していただきました。

3年生の二人が、担任の先生と勉強したのは、電池を使って豆電球をつける「明かりをつけよう」という学習です。

この日の勉強は「どんな物が電気を通すか」という課題でした。空き缶、ものさし、紙、お金、はさみなど、身の回りにある様々なものが電気を通すのかをそれぞれの子どもが実験で調べて確かめました。子どもたちはたくさんの物を一つ一つ「これは豆電球がついた。電気が通るんだ。これはつかない。電気が通らないんだ。」と、とても丁寧に実験をし、記録していました。



【予想をもとに実験開始】

【結果を出し合いまとめます】

【先生の缶は電気を通した！】

この授業で驚いたのが「空き缶」の結果です。「空き缶」はスチールとアルミと二種類ありました。

さあ、ここで問題です。

子どもたちの実験では、空き缶は、電気を通したのでしょうか？

大人の常識ですと、缶は金属ですので、二つとも明かりがつき、電気が通ることですね。

ところが・・・

子どもたちの実験では、二つとも明かりはつかなかったのです。

なぜでしょう？

それは、今の缶は何かコーティングされていて、そのままの状態だと電気が通らないのです。そこで担任の先生のマジックです。先生が空き缶に電線を付けると、電気がついたのです。先生が二人に「先生の缶をよく見てください。何か違いますね。」と話し、二人は缶が削れているのを発見しました。そこにもう一度、「この削ったところにつけると・・・」と話し、その部分に電線を付けると明かりがつけました。二人からは、「あっ、ほんとだ」という声が聞かれました。

その後、二人はそれぞれ自分の缶を紙やすりで削って実験をしました。

「あっ、ついた」という声があがりました。

科学のおもしろさを体感した1時間でした。実験を通して、感動し、感動を通して理解を深めるいい時間であったと思います。

本校ではこのように子どもの「なぜ？どうして？不思議だなあ・・・あっそうか、なるほど！」といった気持ちを引き出しながら学習を進めていくように、努力しております。子どもたち一人一人が「できた、わかった」を実感して、毎日持ち帰ることができればと考え、これからも取り組んでいきたいと思っております。



子どもたちの活躍

第7回 消防美術・防火ポスターコンクール
能代山本広域市町村圏消防本部 消防長賞

○年 ○○ ○○

税に関する作品 習字の部

銀賞 ○年 ○○ ○○



おめでとうございます。